



一人ひとりのカスタム卒業アルバム

オリアル



WEB上で簡単にできる

写真のやりとりや校正など面倒な作業を軽減できます。



一人ひとり違う 卒業アルバムができる

個人個人でページの内容を変えることができます。(「自由ページ」機能利用時)



手持ちの写真も使える

一人ひとりが写真をアップロードして使えます。(「マイフォト」機能利用時)



good!

CUTE





オリアルの特徴

CHECK! WEB上でカンタンに作業が完了



1 イベント毎に整理して
写真をアップ



2 お気に入りの写真に
☆を付ける



3 アルバムをレイアウト
する



4 完成!!



Point

スマートフォンからでも写真の
アップロードやレイアウトがやりやすい



Point

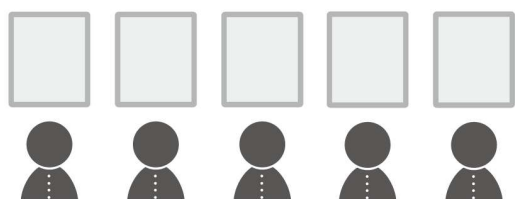
75種類のレイアウトから選んで、
写真を変更するだけで、プロの仕上がり

CHECK! 一人ひとり違う卒業アルバムができる

※自由ページ機能のお申込みが必要です。

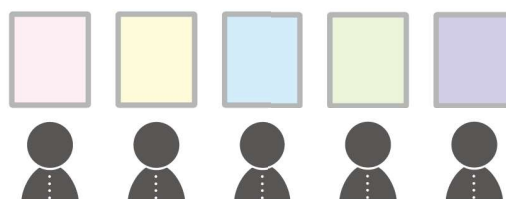
固定ページ

全員共通のページ



自由ページ

一人一人違う印刷のページ



オリアル
独自!



オリアル制作の流れ

STEP
1

ヒアリング

アルバムの総ページ数、固定ページ・自由ページの振り分け、卒業生総数、納品方法、納期、等をお伺いし、お見積いたします。

ミニмум

全部お任せ！校正チェックもオリアル（web上）で完結！

固定ページ編集

—

マイフォト

—

自由ページ
(生徒アカウント)

—

特別授業
「マイドキュメンタリー」

—

MAX

固定ページも自分たちで編集できる！
自由ページは一人一人が編集できる！

固定ページ編集

○

マイフォト

○

自由ページ
(生徒アカウント)

○

特別授業
「マイドキュメンタリー」

○

STEP
2

ご発注

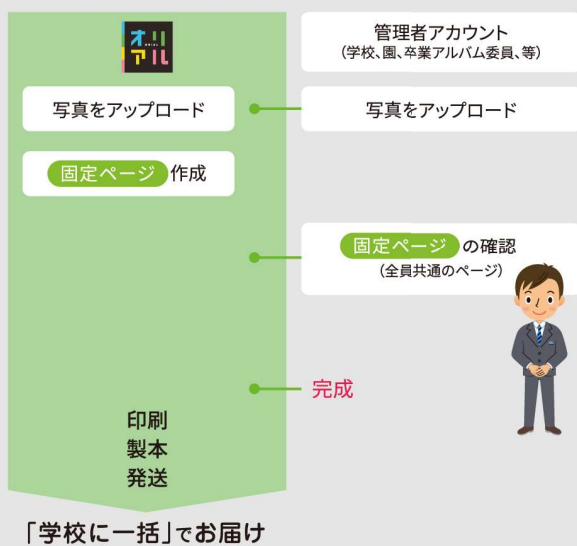
STEP
3

アカウントのお渡し

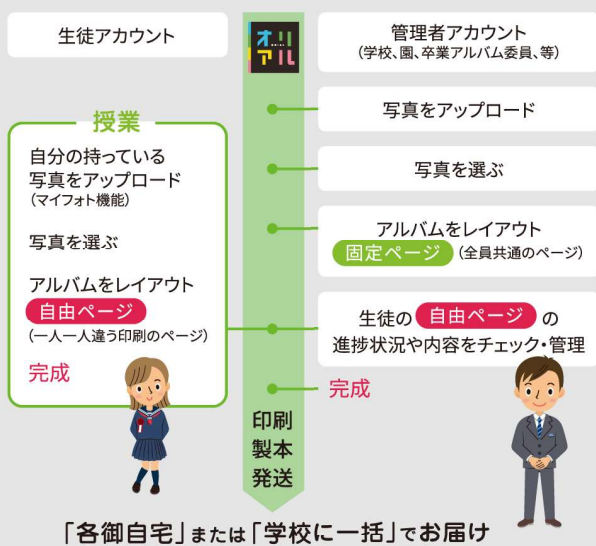
STEP
4

ページの制作

ミニмум



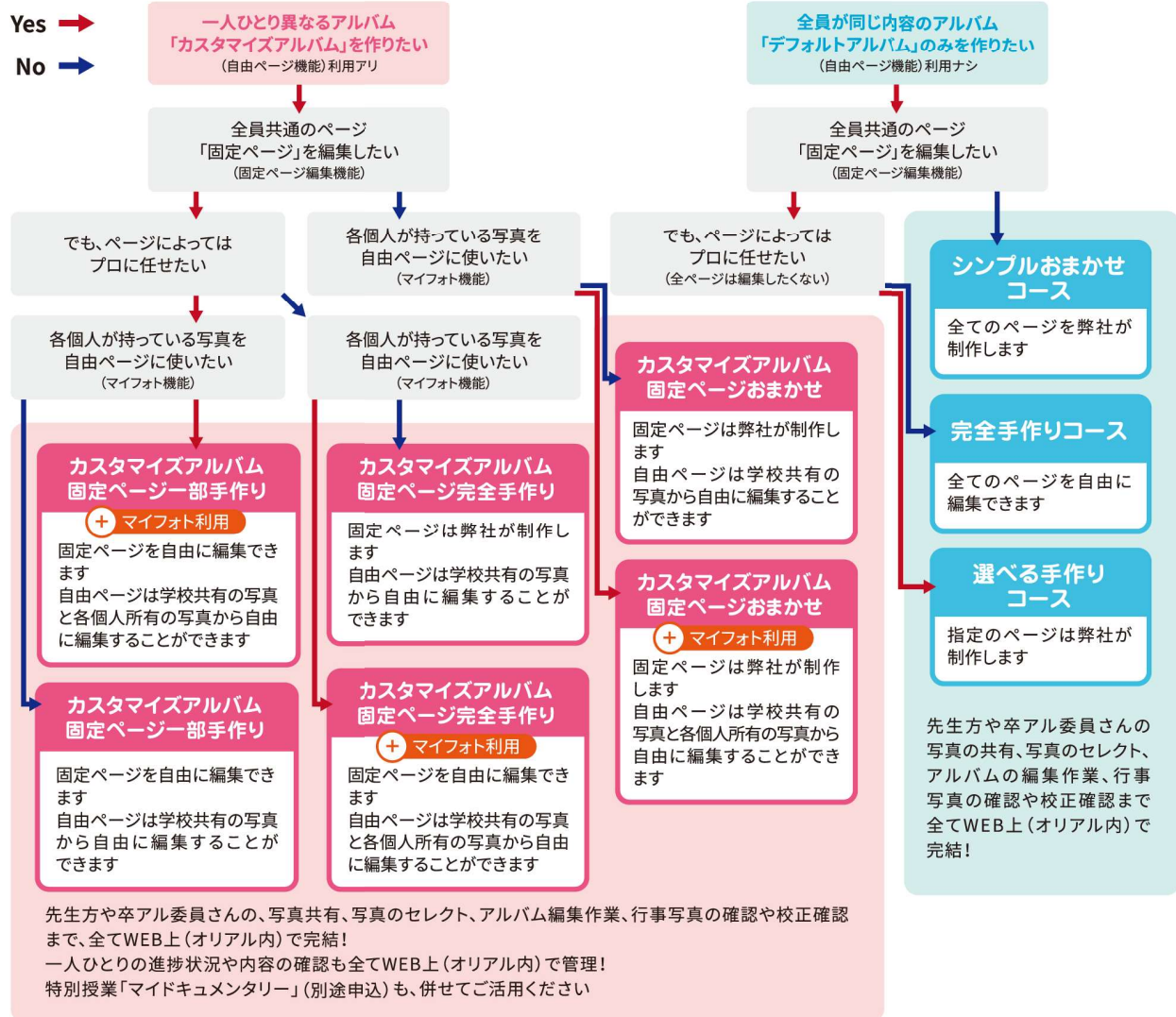
MAX



STEP
5

印刷・製本・納品(発送)

プラン選択フローチャート



～レイアウト例～



特別授業 「マイドキュメンタリー」

自己肯定感を高めキャリア
教育につながるプログラムを
開発中
一緒に研究してくださる仲間
も随時募集中です!

写真を使う 意義



- ・自らを振り返る際の気付きを増やし掘り下げを深める助けとなる
- ・ディスカッションやペアワーク時に視覚情報を共有できる
- ・将来的に多様な場で「自分」を語る際に視覚的イメージを頭に描ける



「オリアル」について

オリアルとは株式会社道々楽者が開発した卒業アルバム制作を支援するwebシステム



理念

貰うだけの記念品ではなく、「一人一人が自ら作成することで満足度や愛校心を高め、写真を通して自分の経験と向き合い自己理解を深める」、新しい卒業アルバムの創造

機能の特長

- ・過去の行事の全写真を事前に行事ごとなどで分類してアップロードし共有しておける
- ・一人一人がこれらの写真にアクセスしSNSのように個人の領域内でセレクトや編集ができる
- ・個人の手持ちの写真も個人の領域内でアップロードして使用できる（機能制限することも可能）
- ・管理者アカウントから各生徒アカウントの進捗状況や作成内容が確認できる

開発のきっかけ

- ・高校の市民講師として約10年間、1年～3年通年の授業を担当してきた
- ・会社経営者として採用や人材育成の課題に直面してきた
- ・多くの経営者と採用や人材育成の局面での課題を共有してきた

オリアルのお問い合わせはこちら

〒167-0021 東京都杉並区井草 3-30-20-103
tel : 03-5962-7745 fax : 03-6750-8255
mail : info@orial.jp

<https://www.orial.jp/>

一緒に授業作りに取り組んでくださる方も連絡お待ちしております！

「自己」を振り返り「今」に結び付ける『オリアル』で 自己肯定感や自尊心、承認力を高める



〈マイドキュメンタリー〉授業案

想い コンセプト

- ・経験を掘り下げ、今の自分を理解し、これからの自分を前向きに捉え、自尊心や自己肯定感を獲得する
- ・相手に能動的に共感する力、他者を承認できる力を養い、人間関係を構築する能力を高める
- ・他者に「自分」を表現する技能を磨き、自信を持って人と向き合い係わり合える素養を育む

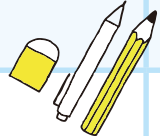
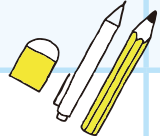
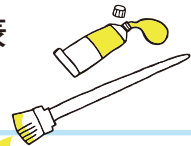
〈マイドキュメンタリー〉 指導案（概要）

ねらい

- ・自尊心、自己肯定感、自己承認の向上
- ・共感、他者承認の実践
- ・表現する手法、人に伝える手法の実践

関連
項目

『キャリア教育』 → 自己理解・自己管理能力
→ 人間関係形成・社会形成能力
『アクティブ・ラーニング』
『思考力・判断力・表現力』（他者に伝えるための「知識・技能」）
『プレゼンテーション能力』
『ICT 教育』

ワークスタイル	単元	内容	手法	ファシリテーションのサポート例
個人ワーク	① 3年間の振り返り	・ 3年間の振り返り 「頑張ったこと」「頑張りが切れなかったこと」 「悔しかったこと」などエピソードを抽出	付箋1枚に キーワード1つ	・ 落ち着いた雰囲気づくり ・ 書き始める前に目を瞑って静かに振り返る時間を取る、など ・ 学習や行事、部活などに限らず生活面や校外活動など視点を広げる ・ まず頭に浮かぶものから順に、印象や記憶に残っていることから、 ・ 「キャリア・パスポート」「JAPAN e-Portfolio」等を実施している場合は活用
個人ワーク 	② 今の自分に どう繋がっているか	・ エピソードを3つに絞り、それぞれが ・ 今の自分にどう繋がっているか掘り下げる	ワークシート	・ エピソード当時の気持ちを書き留めてみる ・ エピソードの前後での自身の変化は？（気持ち、行動、感じ方、等） ・ 「良い変化（成長）」だけでなく「悪い変化（消極的になってしまった等）」や 「変化（したかったのに）できなかった」など何でもOK ・ 「キャリア・パスポート」「JAPAN e-Portfolio」等を実施している場合は活用
ペアワーク グループワーク 	③ 共有と共感、 意見交換	・ ペアでお互いに（ペア5分程度） ・ エピソードや変化などの共通点や 共感できる点を探す ・ 自分だったらどうだったであろう等の意見を交換 ・ ペアを変えて繰り返し	Think-Pair-Share ピア・レスポンス など	・ 否定や批判はさせない、しない ・ 聞き手の時はエピソード内の相手の立場や状況を想像しながら聞こう （聞き手が「能動的に共感しにいける」下地作り） ・ タイムキーパー
講義	④ 説明	「人に伝える」ための「マイドキュメンタリー」 ・ エピソード1つを1見開き（2ページ）でまとめる ・ 作例の例示やオリアルの説明		・ もらった意見も参考に （自身のメッセージと他者の受け止め方のギャップを知り、活用する） 
個人ワーク	⑤ 写真の選択と キャプション	・ 自分のエピソードを伝えるために ・ どんな視覚イメージがあると良いか検討 ・ 共有の学校行事の写真や手持ちの写真から 5枚を選び各写真にキャプションを付ける	ワークシート オリアル	・ 他者が理解しやすいように工夫 （自分が写っている写真を探すのではなく、状況や様子が伝わる写真を探す） ・ 使えるかも、と思った写真はとりあえず☆を付けておく
個人ワーク	⑥ 文章にまとめる	・ 5枚の写真を絡めながら ・ 「何をきっかけに、 ・ どんな「今の自分」になったか」 ・ それらを踏まえて「これからの自分」 （これからどんな自分になっていくか）	ワークシート オリアル	・ まずワークシートで作成 ・ そのまま本文をまとめても良いし自由記述でも良い （テンプレートは苦手な生徒のボトムアップであり、型にはめる目的ではない）
グループワーク	⑦ プレ発表と 意見交換	・ 1人は発表、残りは聞き手（1人2分程度） ・ 聞き手はワークシートにメモ → 「質問・疑問」 → 「良かった（または共感できた）点」 → 「アドバイス」	ワークシート オリアル ラウンド・ロビン など	・ 否定や批判はさせない、しない ・ 聞き手の時はエピソード内の相手の立場や状況を想像しながら聞こう （聞き手が「能動的に共感しにいける」下地作り） ・ 1人の発表が終わったら初めに「質問・疑問」の共有と回答 ・ 続いて1人ずつ全員が「良かった（または共感できた）点」「アドバイス」共有 ・ タイムキーパー
グループワーク	⑧ ブラッシュアップと 発表準備	・ ⑦でもらった意見を反映 ・ 1人の発表をグループ全員で分担 ・ 当事者は分担した各パートのディレクターと 「これからの自分」の発表を担当 ・ リハーサルしながら更にブラッシュアップ	ワークシート オリアル	・ 必ずリハーサルを行う → 分担したパートは当事者が見てニュアンスの修正など行う → 「これからの自分」はグループのメンバーに見てもらい意見をもらう ・ 発表の工夫を促す ・ 発表の際に写真（オリアル）を見せながら行うかは設備環境で判断して良いが写真は 見せずに発表を工夫した方がねらいに対する効果が高い
グループ 対 グループ 	⑨ 発表	・ 2グループごとに集まり先攻後攻で発表 ・ 聞く側はワークシートにメモ → 内容について良かった（または共感できた）点 → 発表について良かった点など → エピソード内の状況や情景が浮かんだ箇所	オリアル ワークシート	・ グループを新たにシャッフルして行うかクラス全体に一人ずつ発表 ・ 聞く側は共感ポイントや共通点、良かった点やアドバイスをメモ ・ ワークシートは集計しメモの良いものは抜粋し本人へフィードバック

新しい環境・新しい出会いに向けて

自分のことを
ちょっとした
話せる

ちょっと
自信を持って
自己紹介が
できる

ちょっとした
承認が
生まれる

授業案「マイドキュメンタリー」

無料トライアル実施中!

検証試験に御協力いただける学校様・教育委員会様を募集しております

実施期間 2020年10月～2021年3月末日 **募集期限** 2021年1月末日

無料トライアルで何ができる？

自分を掘り下げていく授業案「マイドキュメンタリー」の体験

ワークシートとオリアルを使い「記憶のトリガー」をオリアルにまとめていきます。

ワークシート	学年や時間数、ICT 環境などご要望にあわせてアレンジして無料提供します
オリアル	教員のみ・クラス・学年などご要望にあわせてアカウントを発行し無料提供します
使う写真	業者や先生が撮り貯めた写真を使っても、生徒自身が撮った写真を使っても、新たに写真を撮っても OK!*

*そのまま卒業アルバムとしても使えます。印刷製本は実費をご負担ください。

《アレンジ例1》

1 番の思い出エピソードを探してみよう

🕒 所要時間：1～2時間

《アレンジ例2》

step1 今の自分 ▶ step2 過去 ▶ step3 未来の挑戦

🕒 所要時間：6～8時間

様々なパターンに対応いたします。ご相談ください。



オリアル

ORIAL

一人ひとりが編集できる卒業アルバム作成ツール

一人ひとりが写真を選んだりレイアウトすることで生まれる
「自分と向き合う時間」にこそ価値があります。

ブラウザシステムなのでアプリのインストールは不要です。
PC、タブレット、スマートフォンで利用できます。





教育文化

一人ひとりが卒業アルバムを編集できるウェブシステム 写真を見て振り返る時間が、生徒の 自己肯定感を高めるきっかけに。

Interview



道々楽者 代表取締役
佐藤 太志朗(さとう たいしろう)さん

キャリア教育の重要性が叫ばれて久しいが、依然として「自分に自信が持てない」「目標が定められない」と感じる若者も多い。教育現場では、どのような働きかけが有効なのだろうか。そこで、写真(卒業アルバム編集システム)を用いたユニークな取り組みを進めている「道々楽者(どうどうらくしゃ)」の佐藤さん取材した。

自分とは？進みたい未来は？ 考える機会が少ない若者たち。

プロの写真家として、母校である高校で市民講師を約10年務めてきた佐藤さん。生徒と向き合う中で、度々、自己肯定感の低さを感じてきた。「決まった課題に対して、上手にこなす生徒は多い。その一方で自由課題と向き合うと、途端に自分のつくりたいものが見つからないことが多いんです」。写真事務所の経営者として採用面接などを行う際にも同様の課題を感じるのだという。

「若者が自分の存在を認め、切り拓くべき未来を見つける機会を提供したい」。そこで注目したのが、長年制作に携わってきた卒業アルバムだ。従来のアルバムは、受け取ったときに友人と盛り上がり見てみるものの、そのまま押入れの奥にしまい込んでしまうケースも少なくない。「単なる記念品で終わらせるのはもったいない。卒業という節目に自分自身について考える時間を持つツールにできれば」。そこで開発を思い立ったのが、生徒自身が写真を選び、アルバムを編集できるシステムだった。過ごしてきた学校生活を振り返り、客観的に写真を見ることは、自分自身の棚卸しにもつながる。結果と

して「このときに頑張ったから今の自分がある」と、自分を肯定するきっかけにもなると考えたのだ。

アルバムの編集作業を通し 自分と向き合う時間を持つ。

そうして産声を上げたのが、卒業アルバム制作を支援するウェブシステム「オリアル」だ。生徒と先生それぞれにアカウントが発行され、PCやタブレットを使えば、ウェブ上でアルバムの編集が可能。どの写真を使うのか、何枚使うのか、どう配置するのかは生徒次第。これにより、一人ひとり違うアルバムが完成する。開発段階では、直感的な使いやすさに配慮したという佐藤さん。一方で、自分の写真が簡単に探せる顔認識機能等はあえて採用していない。「自分以外の写真も見たい。このときにこんなことがあったなと、記憶のトリガー(引き金)を探し、振り返ることが大事だと思うからです」。

選んだ写真は自分で配置場所を指定できるが、自動配置してくれるボタンも用意されている。意欲がある生徒はゼロからどんどんつくり込めるし、自信がない生徒は自動配置を使うことで、ある程度、土台ができ

アルバム編集のおおまかな流れ



た状態からスタートできる。生徒の取り組む意欲やスキルに合わせて活用できるといふわけだ。

自己肯定感を高めるための 授業プログラムも提案。

オリアルと並行して開発を進めてきたのが、自己肯定感の向上に着目した授業用プログラム「マイドキュメンタリー」だ。この授業は、学校生活を振り返る個人ワークから始まる。その中から“今の自分”につながるエピソードを3つ選び出し、ペアやグループワークで意見交換を行いながら、より深く自分と向き合う。さらに、オリアルを活用して写真と文章でエピソードをまとめ、自分の現在・過去・未来について、他者にも伝わるようにプレゼンテーションを行うという流れだ。先生用のワークシートには、授業を進める上での細かい設定や時間配分などが記載されている。

オリアルとマイドキュメンタリーの本格始動は令和3年度から。今年度は、教職員や教育委員会との意見交換会をはじめ、小・中学校や高校での実証実験を展開していく予定だという。「現場の方々にフィードバックをいただきながら、よりよく改善し、精度を上げていきたい」と意気込む佐藤さん。

生徒が楽しみながら取り組める新たな教育コンテンツとして、今後の動きに注目したい。

CHECK

マイドキュメンタリーを無料体験しませんか？

オリアルを実際に使いながら、生徒たちの自尊心や自己肯定感の向上につながる授業プログラム「マイドキュメンタリー」の無料体験(所要時間4時間/4コマ)に取り組む自治体を募集！詳しくは、右記までお気軽にお問い合わせください。

対象:小・中学校、高校 受付期間:9月25日(金)~12月25日(金)

実施期間:10月1日(木)~3月26日(金) 募集自治体数:先着10自治体を予定

写真を使った新たな教育コンテンツ！

オリアルの強みとは

1 ウェブ上でいつでも簡単に編集

制作できるアルバムは最小6ページから。ブラウザシステムを使用するため、専用ソフトは不要だ。ウェブ上で完結するので、写真のやりとりや校正などの負担を軽減。学校や家庭のパソコンもしくはタブレットなどで編集できる。



2 一人ひとり違うアルバムが完成！

全員共通の「固定ページ」と、一人ひとり違う印刷を行う「自由ページ」を設定。写真の選択や配置、ページレイアウトで個性を発揮できる*。レイアウトのテンプレートも75種類と豊富！

3 手持ちの写真も掲載可能

使いたい写真をアップロードしてアルバムに掲載が可能。スマートフォンからもアップロードできる*。

※申し込みプランによって、利用できる編集機能は異なる。詳細はホームページを参照。

マイドキュメンタリーとは

授業を行う目的

自己肯定感の向上

共感・他者承認の実践

人に伝える手法の実践

写真家として数々の学校現場を訪れ、また、指導者として教壇に立ち続けてきた経験を持つ佐藤さんが考案した「授業プログラム(指導案)」。

アルバム制作のオリアルを活用しながら、生徒の自己肯定感を高めるとともに、他者とのコミュニケーション技術を身につけることを目的に設計されている。

授業プログラムのおおまかな流れ



お問い合わせ

株式会社道々楽者
☎03-5962-7745

〒167-0021
東京都杉並区井草3-30-20-103
<https://www.orial.jp/>
メール info@orial.jp